

国際教養大学ウェブサイトリニューアルに係る企画制作及び移行業務委託 公募型プロポーザルに関する質疑応答書

2022年12月16日
公立大学法人 国際教養大学

1. 説明会における質疑応答

番号	質問	回答
1	企画提案書の正本への押印は必須など様式はありますか？	以下の提出書類にのみ押印をお願いします。 【様式5-1】見積書(正本1部) 【様式5-2】見積明細書(正本1部) 【様式5-3】作業工程予定表(正本1部) 【様式6】企画提案書提出届(正本1部) 上記以外の書類については、押印なしで提出をお願いします。
2	Googleアナリティクスのデータについては提案時に開示いただくことは可能でしょうか。もし既存業者が閲覧できている場合には、既存業者のみ有利になっている認識です。	左記のアクセス情報(Google Analyticsをベースとしたデータ)は令和4年12月22日以降、参加資格が確認できた提案者にのみ個別で送付します。本プロポーザル以外の目的としては利用しない条件付きで開示します。なお、既存業者が本公募型プロポーザルに参加する場合は、本プロポーザルで開示された資料以外で、既存ウェブサイトの制作・保守業者に従事した者のみが業務において知り得た情報をもとにした提案は行わないように通知します。
3	受注実績として、大学、学校法人、国及び官公庁の1,000ページ以上のサイト制作実績とのことですが、こちらは1,000ページ以上が必須でしょうか？また、こちらの実績がない場合は、参加資格がないとの認識でよろしいでしょうか？	参加資格は、大学及び大学法人・学校法人、国及び官公庁のいずれかの組織を契約相手とし1,000ページ以上かつ多言語対応のウェブサイトの企画制作業務又は類似の受託業務実績を有する者とさせていただきます。 【説明会での回答からの追記事項】 また、【資料1】4.⑦に記載のとおり、類似業務実績(契約相手方の業種、契約形態、ページ規模の制限を緩和)を有する場合は、類似業務の実績を審査し十分な実績があると判断した場合も参加資格を認めます。
4	実績に記載するページ数はおおよその数でよろしいでしょうか？	おおよそのページ数で構いません。(100ページ単位)
5	Googleアナリティクスについて、既存業者も開示されたデータ以外をもとにした提案は行えない認識でよいでしょうか？	既存業者が本公募型プロポーザルに参加する場合は、Google Analyticsのみならず既存ウェブサイトの制作・保守業者に従事した者のみが業務において知り得た情報をもとにした提案は行わないように通知します。
6	見積もりは一時経費のみでよろしいか？ランニングコストは不要ですか？	リニューアルにより新たに構築するレンタルサーバ環境や各種ライセンス費用など、本業務の契約期間中に発生する各種費用は受託者が負担することとします。ただし、本業務完了後、別途契約を予定している保守・運用補助業務において発生するレンタルサーバやライセンス費用は委託者(本学)が負担する予定です。
7	「郵送」について、宅配便・宅急便等の利用も許可されますでしょうか。	参加資格確認申請書および企画提案書の送付については、送付と配達記録が残る速達や書留、ゆうパックをお願いします。 【説明会での回答からの追記事項】 また、その他の送付手段においても送付と配達記録が残るものは利用可能です。
8	1000ページの実績はJV参加とする場合、構成員が保有でよろしいか？	JVなど共同企業体による実績は、 ・共同企業体の構成企業一覧 ・構成企業の分担業務、規模(ページ数など)の詳細 も合わせて記載をお願いします。 実績の記載において、書類の正本には企業名や商号の記載ができますが、副本には企業名や商号を記載しないでください。
9	速達or書留とのことですが、配達追跡ができるゆうパック等でも可能でしょうか。(最大で50ページ×8部により相当数の枚数になることを想定しています)	参加資格確認申請書および企画提案書の送付については、送付と配達記録が残る速達や書留、ゆうパックをお願いします。 【説明会での回答からの追記事項】 また、その他の送付手段においても送付と配達記録が残るものは利用可能です。
10	仕様書の説明・解説はこのあとあるのでしょうか？	仕様書の説明・解説は予定しておりません。

2. ウェブ受け付けによる質疑応答

番号	質問	回答
11	レンタルサーバや、月額・年間ライセンスがかかるようなものに関しましては貴校でのご負担となりますでしょうか？継続的にお支払いするものだと思いますので、リニューアル費用の中に入れるのとは別と考えてよかったですでしょうか。	リニューアルにより新たに構築するレンタルサーバ環境や各種ライセンス費用など、本業務の契約期間中に発生する各種費用は受託者が負担することとします。ただし、本業務完了後の運用費用については、別途契約を予定している保守・運用補助業務において、レンタルサーバやライセンス費用は委託者(本学)が負担する予定です。
12	ご提案書につきまして、A4版・左上とじ横書きとありますが、用紙の縦向き、横向きはご指定ございますでしょうか。	企画提案書の用紙方向の指定はありません。
13	リニューアル中の運用業務の引き継ぎについてはリニューアル費用に含まれますでしょうか。また、リニューアル制作期間中に稼働し続ける現行サイトは、旧サーバを利用し続ける認識でよろしかったでしょうか。また、その際にコントロールパネル情報なども引き継ぎは可能でしょうか。(レンタルサーバの契約者のご確認)	【資料2】仕様書5(5)のとおり、本業務には、リニューアル前の現行ウェブサイト運用に関する引き継ぎ業務も含まれます。 また、リニューアル制作期間中に稼働している現行ウェブサイトは旧サーバを利用し続ける予定です。 なお、リニューアル制作期間中の引き継ぎにおいては、現行サーバのコントロールパネル情報の引き継ぎは可能です。
14	html編集で容易に編集できるものとする書いてありますが、グーテンベルグなどのエディターは使用してもよろしいのでしょうか？そちらの方がより作業負担なく管理できると思います。	エディターの提案は可能です。CMSの編集における利便性などについては、本業務で求められる諸仕様を満たしていることや導入のメリットなどを審査にて判断します。
15	保守運用の費用は別途お見積りを考えてよろしかったでしょうか。	保守運用の費用は別業務となるため、別途契約の予定です。

16	<p>現在のアクセス情報につきまして、可能でしたらお伺いをしたいです。直近1ヶ月につきまして。 ページビュー数 ユーザー数 ページセッション パソコン、モバイルの比率 平均セッション時間 こちらをお伺いすることは可能でしょうか。</p>	<p>左記のアクセス情報（Google Analyticsをベースとしたデータ）は令和4年12月22日以降、参加資格が確認できた提案者にのみ個別で送付します。本プロポーザル以外の目的としては利用しない条件付きで開示します。</p>
17	<p>【資料2】仕様書 P-6 5. 業務内容に関する詳細要件 (1) 企画・サイト構造設計 ii) ホスティングサーバの移動 については、手配するホスティングサーバ（i）を収容するサーバ台に）に集約する、という認識で宜しいでしょうか？（ホスティングサーバ構成、工数積算に必要）</p>	<p>左記のとおり、【資料2】仕様書 5.業務内容に関する詳細要件の ii) のサイトについては i) を収容するサーバに集約します。</p>
18	<p>【資料2】仕様書 P-8 5. 業務内容に関する詳細要件 (4) CMSの構築 『ウェブサイトのCMSは a) 日本語ウェブサイトと英語ウェブサイトを同じページ構造とし、1つのCMSの中で言語切替により2つのウェブサイトが一括管理できるCMS b) 上記のa)で構築した環境を再現するデモサイトのCMS』 とありますが、これは、本番用と評価・テスト用の2式という認識で宜しいでしょうか？ （ホスティングサーバ・クラウドサービスの構成、工数積算に必要）</p>	<p>左記のとおり、本番用のCMS1式と評価・テスト用の1式の2つのCMS構築となります。</p>
19	<p>【資料2】仕様書 P-8 5. 業務内容に関する詳細要件 (5) ホスティングサーバの手配・運用管理、CMS環境・DB環境構築 『 a)CDN（コンテンツ・デリバリー・ネットワーク）サービスの手配、設定も含まる。』 とありますが、現状の貴学のウェブサイト運用（サーバホスティング）に要している費用概算をご教示頂く事は可能でしょうか？ （リニューアル後のウェブサイト運用コストの想定費用感、CDN含むホスティング等クラウドサービスランクの構成、選定に必要）</p>	<p>既存契約における費用詳細の開示はできかねます。</p>
20	<p>【資料2】仕様書 P-8 5. 業務内容に関する詳細要件 (5) ホスティングサーバの手配・運用管理、CMS環境・DB環境構築 『 b) 既存ウェブサイトのCMSはWordPressで構築されており、リニューアル後のサイトも、このCMSを使用することを前提とする。』 とありますが、ご指定のCMS；WordPress以外にもご要求の高いレベルのウェブアクセシビリティを実現するにあたってインシャルでのレベル達成のみならず、長期間の運用に於ける編集時のアクセシビリティチェック機能などで効果を発揮するCMSが数多く流通していますが、これらの提案は受け付けられるのでしょうか？またこの際、評点は下がるのでしょうか？ （企画立案の検討、構築費用の積算に必要）</p>	<p>WordPress以外のCMSを提案することはできませんが、その際には下記の懸念事項への対策を明確に提示したうえでご提案をお願いします。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・仕様書および仕様書別紙にて提示している要求仕様を満たす根拠の提示 ・他CMS導入における構築、運用メリットの提示 ・有償CMSの場合、初期開発費用やランニングコストなど費用対効果の検証 ・新たなCMSの導入後に発生する操作方法習得や研修に必要なコスト、スケジュールの検証 ・質疑応答書 質疑17で記載した、現行ウェブサイトで採用している Wordpress Pluginが提供する機能が、導入CMSにおいても具現可能であることを示す仕様の提示
21	<p>【資料2】仕様書 P-8 5. 業務内容に関する詳細要件 (6) 既存ウェブサイト掲載記事の移管・更新 『受託者は、既存ウェブサイトに掲載されているページの内、2022年4月以降の記事ページに加え指定した記事ページのデータは、リニューアル後のページにも掲載されるように移管する。』 とありますが今般のような大規模サイトのリニューアル調達に於ける、高いウェブアクセシビリティレベル(JIS X 8341 -3:2016 レベルAA)準拠を必須要件とされる場合、既存ページの、所謂、Copy&Pasteではない、JIS X 8レベルAA 要求事項38項目を達成するために、現行ページの改変・編集を伴う移行作業が重要になるものと考えます。この作業工数の積算の為、移行対象となるページ数、移行不用品ページ数（リニューアルに伴って削除となるページ）を具体的にお示し願います。（作業工数の積算に必要。自治体サイトのリニューアル調達ではこれが示されるケースが一般的です） また、移行作業をするにあたって、ある時点でクローズしてから移行作業に着手となりますが、本作業の間に生じた差分ページ（クローズ次点から追加・改変されたページ）についての移行作業は受託者が行うべきもの、との認識で宜しいでしょうか？</p>	<p>移行対象のページは固定ページ約600ページ、記事ページ約300ページ、合計900ページを想定しています。（日本語と英語ページの合計） また、本リニューアル業務中に更新された旧ウェブサイトのページ移行作業も受託者が行うものとします。</p>
22	<p>【資料2】仕様書 P-9 (8) ウェブアクセシビリティ検証 ご指定ツールは主としてHTML構文(hタグ、Altタグ、リンクチェック等)と推察されますが、TabKey遷移（マウス操作を前提とした操作の排除）触覚・操作感領域（ビヘイビア・振舞い）、やカラーコントラストチェック等の視覚領域チェックは不要であるとの認識で宜しいでしょうか？ ご要件定義にあるレベルAA必達の場合は第三者機関への検査を求められる場合がありますが、本調達ではご指定のツールの使用、検査、是正のみで宜しいとの認識で宜しいでしょうか？ また、『本学が指定する40ページ程度については、axe-scanで確認できないアクセシビリティ達成基準も含め、全ての適合レベルA、AAの達成基準に適合していることを個別に確認し、summary-allowlisted.csvと同様の書式にまとめ、本学に提出する。』とありますが、納品（成果報酬請求）にあつては、ご指定の適合性を確認するデータ等を取り纏め、指定ページ全てが適合レベルA、AAを達成していることを確認し、更に基準に適合しない場合、検収はしない、との認識で宜しいでしょうか？（工数積算に必要）</p>	<p>ウェブアクセシビリティの検証は、本学ウェブサイトに公開しております「国際教養大学ウェブアクセシビリティ方針（https://web.aiu.ac.jp/web-accessibility-policy/）」に則って行います。上記ウェブアクセシビリティ方針の記載のとおり、JIS X 8341-3:2016の適合レベルAAに準拠しており、TABキー遷移(WCAG2.0: 2.1.1, 2.1.2, 2.4.3, 2.4.7)、カラーコントラスト(WCAG2.0: WCAG 2.0 1.4.1)も含まれます。 また、本業務におけるウェブアクセシビリティ検証の第三者機関依頼は想定していません。 なお、指定ツールはdeque社のaxe-coreを用いたウェブアクセシビリティスキャンツールとなっており、機械的コード検査だけでは検証が不可能な項目については、目視検査の上、納品（成果報酬請求）して頂きます。納品においてはウェブアクセシビリティの適合性が確認できるデータ等を取り纏め、指定ページ全てが適合レベルA、AAを達成していることを確認し検収します。適合しない場合かつ修正が不可能な合理的な理由がある場合は、事象によって協議の上、対応します。</p>

23	<p>【資料2】仕様書 P-9 (9) 運用マニュアルの作成</p> <p>マニュアルは日本語版のみで宜しい、また、操作説明にあってはオンサイトであるかリモートでも可能であるか？ オンサイトである場合は、機器、会場、ならびにマニュアル印刷は貴学ご支給との認識で宜しいでしょうか？ また、運用担当者様の人数をご教示願います（工数積算に必要）</p>	<p>マニュアルは日本語版のみ納品をお願いします。 説明会はオンサイトでもリモートでも構いません。また、オンサイト開催の場合の、機器、会場の手配は本学にて負担します。媒体の印刷費用は受託者にて負担することとします。 想定運用担当者は最大20名です。</p>
24	<p>【資料3】仕様書別紙 P-4 . CMSおよび運用上の要求仕様 (1) CMSの構成と仕様 『日本語ページと英語ページが1つのCMSで管理できるものとする。言語の切り替えにより日英サイトの編集が用意なものでなければならない。』 『図1で示す、「ページ①」のように日本語ページと英語ページの両方に存在するページはCMSで切り替えにより、双方を容易に編集できるものとする。一方、「ページ②」のように日本語ページにのみ存在するページや「ページ③」のように英語ページにのみ存在するページなど、あらゆる固定・記事ページの新設・編集が容易なシステムとするとともに、それらの依存関係や構造が容易に把握できるシステムとする。』</p> <p>本要件によれば、母国語（日本語）ページをベースとした、所謂機械翻訳では実装が困難であると想定されることから、WordPressで言う、日本語・英語サイトの「マルチサイト構成」にせよとのご要件定義と推察されますが、この時、一部のページ（図中のページ②及び③）以外のページは翻訳作業が発生すると思われませんが、この翻訳作業費は受託者が行う（工数積算を含む）のか、或いは、発注者様からご提供されるもの、とすべきをご教示願います（一時経費ならびに運用コスト積算に必要）</p>	<p>日本語→英語の翻訳テキストは本学にて支給するため、本業務の対象ではありません。</p>
25	<p>【資料3】仕様書別紙 P-6 3. CMSおよび運用上の機能的検討事項 (2) サイト内でのリンクエラーに対するアラート 『TTPレスポンスコードが200 OKでないものが発見された場合、管理者メールに通知するWordPressプラグインを導入しており、リニューアル後も引き続き監視プラグインを導入することが望ましい。』</p> <p>現在起用するプラグインを継続使用する事が他方適用するプラグインとの整合性を確認するためにご開示願います。</p>	<p>Broken Link Checker v1.11.21 (https://ja.wordpress.org/plugins/broken-link-checker/) を導入しています。</p>
26	<p>【資料3】仕様書別紙 P-6 3. CMSおよび運用上の機能的検討事項 (3) 投稿時の簡易アクセシビリティチェック 『本学アクセシビリティ方針を満たしつつ、事務局内の継続的な教育効果を期待して、記事投稿時に自動で実行される簡易のアクセシビリティ検査機能が実装されていることが望ましい。本学でよく見られるアクセシビリティ上の問題には次のようなものがある。 ・画像に代替テキストが入っていない。現在のウェブサイトでは要素に対して代替テキスト属性「alt=""」が自動的に挿入されてしまうので、装飾的な画像が代替テキスト未記入なのか、機械的に判別できなくなっている。 ・「日 時」など文字（単語）幅調整用の不適切な空白文字列が入っているなど』</p> <p>貴学アクセシビリティガイドラインには記載のない、記載表現ルール（日付（西暦表記、2022.12.13で良いのか？）曜日標記ツール（月）・（月曜日））、時間時刻（12時間、24時間表記）、その他（Tel/TEL,Fax/FAX）のルールがある場合、そのチェック機能ならびにオートマティック置換辞書実装を検討致しますのご開示をお願い致します。 （実現性、工数積算に必要）</p>	<p>基本的には、 yyyy年mm月dd日（月）00時00分（24時間表記） yyyy（令和）年mm月dd日 の形式としていますが、ページによって趣旨や体裁が異なるため、ウェブページにおけるすべての日付や曜日などを統一して記載するルールではありません。</p>
27	<p>現状のWordPressに導入されているプラグインについて、既存業者は把握されていると思いますので、公平性の観点から、現状使用しているプラグイン一覧をご開示いただきたい。（特に日英切り替えを実現しているプラグインに関しては仕様書別紙では把握しきれない点があるのでお示しいただきたい。）</p>	<p>現状のWordPressで導入しているプラグインの一覧は以下のとおりです。 Advanced Editor Tools (旧名 TinyMCE Advanced) v5.6.0 Akismet Anti-Spam (アンチスパム) v5.0.1 All in One SEO v4.2.7.1 Breadcrumb NavXT v7.1.0 Broken Link Checker v1.11.21 Classic Editor v1.6.2 Contact Form 7 v5.4.2 Contact Form DB v2.10.27 Custom Post Type Permalinks v3.4.5 Custom Post Type UI v1.10.2 v2.4 Peter's Collaboration E-mails v2.2.0 PS Taxonomy Expander v1.2.3 PublishPress Future v2.8.0 Redirection v5.3.5 Search Everything v8.1.9 Search Regex v3.0.6 SiteGuard WP Plugin v1.7.3 User Role Editor v4.60.2 WP Admin UI Customize v1.5.13 WP Multibyte Patch v2.9 WP-DBManager v2.80.9 WP-PageNavi v2.94.0 カスタムフィールドテンプレート v2.5.6</p> <p>また、現行ウェブサイトでは日英切り替えを導入しておりませんが、今回のリニューアルにて新たに導入するものとなります。</p>
28	<p>現状使用しているWordPressのVerをお示しください。</p>	<p>WordPress 5.6.10</p>
29	<p>WordPressでページ作成時のエディタはクラシックエディタを使用しているか、あるいはGutenberg（ブロックエディタ）を使用しているか、どちらでしょうか。</p>	<p>クラシックエディタを使用しています。</p>

30	今回指定されている同様の機能が達成できる場合、WordPress以外を使用した提案は可能か？	WordPress以外のCMSを提案することはできませんが、その際には下記の懸念事項への対策を明確に提示したうえでご提案をお願いします。 ・仕様書および仕様書別紙にて提示している要求仕様を満たす根拠の提示 ・他CMS導入における構築、運用メリットの提示 ・有償CMSの場合、初期開発費用やランニングコストなど費用対効果の検証 ・新たなCMSの導入後に発生する操作方法習得や研修に必要なコスト、スケジュールの検証 ・質疑応答書 質疑17で記載した、現行ウェブサイトで採用している Wordpress Pluginが提供する機能が、導入CMSにおいても具現可能であることを示す仕様の提示
31	WordPressでの提案を前提にしている理由は、どのような動機があるか。（例えば、操作方法習得のコスト軽減、優れたCMSだと考えている、既存業者からの提案、特に理由はないなど）	CMS仕様策定の背景としては、 ・初期開発費用、ランニング費用の削減 ・Pluginなど拡張機能の導入が容易である点 ・SEO対策が容易である点 などがあげられます。
32	教員募集フォームにおいて保守運用委託先に依頼している「RECAPTCHAの設定」は具体的にどのような作業でしょうか。	教員募集フォームで使用しているContact Form 7において、スパム防止のためのreCAPTCHA連動の設定を、フォームの追加・編集作業ごとに保守運用委託先に依頼しなければならぬ（設定しなおさなければならぬ）、というワークフローになっている状況を意味します。
33	ウェブアクセシビリティ検証手順が、使用するツールや、手順まで指定（限定）されているのはなぜでしょうか？	ウェブアクセシビリティの検証ツールを指定した背景には、納品時の成果物の検収において、ウェブアクセシビリティ検証のプロセスと結果を本学でも把握し今後のウェブサイト運用にも活用するためです。 一方で、仕様書別紙において指定したウェブアクセシビリティ検証ツールは、開発ツールとしての指定ではありませんので、開発におけるツールは受託者が適宜選定するものとします。
34	現サイトのサーバー構成、サーバースペックをご教示願います。	左記のサーバー構成・スペックは令和4年12月22日以降、参加資格が確認できた提案者へのみ個別で送付します。なお、送付する情報は本プロポーザル以外の目的としては利用しない条件付きで開示します。
35	ページ移行時など、現行サイトのサーバーおよびWordPressに、受託業者が接続・ログインすることは可能でしょうか。接続できない場合は、設定情報伺い、データ取り出し等の依頼に現業者が応じていただけますでしょうか。	移行時は、現行サイトのサーバーおよびWordPressに受託業者が接続・ログインできるものとします。
36	仕様書5、(1) a) ii) 「ホスティングサーバの移動」に記載のあるサイトは、サーバー移転だけを行い、リニューアルの対象外の認識でよいでしょうか。	左記ウェブサイトは、リニューアル対象外となります。
37	中島記念図書館（https://library.aiu.ac.jp/#gsc.tab=0）などドメイン違うサイトは今回の業務範囲外の認識でよいでしょうか。	左記ウェブサイトは、リニューアル対象外となります。
38	現状のページ数と、移行予定のページ数をお知らせください。	現状のページ規模は約3200ページ（日本語・英語ページの合計、添付ファイル含まず）となっています。そのうち、移行対象のページは固定ページ約600ページ、記事ページが約300ページ、合計900ページ（日本語・英語ページの合計）を想定しています。
39	業務の対象のうち、WordPressの管理対象外になっているページがある場合はあらかじめお知らせいただけますでしょうか。	本リニューアル業務におけるウェブサイトの構築は、原則としてすべてのページがWordPressなどCMSで管理されるものとします。
40	著作権について、その他一切の著作権は委託者が保有するものとするが、CMS等すでに著作権が生じているものについては、使用权のみ帰属する認識で良いか。	すでに著作権が発生しているものについては、使用权のみの帰属の認識です。
41	企画提案書の用紙について、縦・横のどちらが良いか希望はございますでしょうか。	用紙方向の指定・希望はありません。
42	JV、外注先、協力会社等についても、企画提案書には企業名や商号などは記載できない認識で良いか。	企画提案書の副本にはJV、外注先、協力会社等についても、企業名や商号などは記載しないでください。（正本には記載可能）
43	プレゼンテーションに関して、審査委員には事前に企画提案書類が配布され、内容を読み込む時間があるかどうか。企画書最大50ページ、評価項目数12に対して、プレゼンテーション時間が15分と短すぎるため、あらかじめ読み込みを行っていただき評価をいただきたい。	プレゼンテーションの内容および提出資料を評価材料として評価委員会を開催する予定です。 また、本学で定めた評価方法によって公正かつ厳正な評価を行い、提出された資料の十分な検討も含まれます。
44	プレゼンテーションの内容は録画等を行い、選定委員会の方が繰り返し閲覧可能な環境でしょうか。	プレゼンテーションの内容は録画等を行い、選定委員会では必要に応じて繰り返し閲覧可能な環境となっています。
45	選定委員会は何名で構成されていますでしょうか。	最大6名を予定しています。
46	選定委員会に普段WordPressを使用したホームページの更新作業を実施している方は含まれますでしょうか。	ウェブサイト更新業務（関連部署）に係わる者も含めています。
47	サイト公開以外に、ドキュメント等想定している納品物をご教示ください。	・運用マニュアル ・ウェブアクセシビリティ検証データ ・ページリスト/リダイレクトリスト を提出して頂きます。
48	一部「移行・運用補助業務」という文言があるが、運用補助業務については、サイトリニューアル後に別途契約となる保守業務の内容の認識でよいか。	「運用補助業務」は、本業務完了後、別途契約を予定している保守・運用補助業務の内容を指します。
49	Googleアナリティクスのデータについては、既存業者のみが有利にならないように、開示をいただきたい。また、既存業者についても、企画提案向けに開示された情報以外からの提案が無いように指示をいただきたい。（説明会で質問した内容と同一です）	左記のアクセス情報（Google Analyticsをベースとしたデータ）は令和4年12月22日以降、参加資格が確認できた提案者へのみ個別で送付します。本プロポーザル以外の目的としては利用しない条件付きで開示します。 なお、既存業者が本公募型プロポーザルに参加する場合は、本プロポーザルで開示された資料以外で、既存ウェブサイトの制作・保守業者に従事した者のみが業務において知り得た情報をもとにした提案は行わないように通知します。